

27. 後腹膜・腹膜腫瘍

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ							
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門としている 医師数		手術	化学療法	放射線療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容			
					治療内容	治療実績	医師の 専門 分野					
1 消化器外科	8	3	状況	○	○	×	上部消化管外科・下部消化管外科・肝胆膵外科の専門にとらわれず後腹膜腫瘍へ対応可能です。婦人科・泌尿器科・放射線科などと協力して最適な治療を行います。	ア	外科 http://www.gh.opho.jp/patient/examination/38.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	なし	なし		イ	http://			
2 産婦人科	11	1	状況	○	○	×	腹膜がんや後腹膜腔に存在する癌に対して外科・泌尿器科・放射線科などと協力して最適な治療を行います。	ア	産婦人科 http://www.gh.opho.jp/patient/examination/68.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	なし		イ	http://			
3 泌尿器科	8	3	状況	○	○	×	後腹膜の細胞腫の種類に応じて化学療法を行います。	ア	泌尿器科 http://www.gh.opho.jp/patient/examination/69.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	なし		イ	http://			
4 放射線治療科	2	2	状況	×	×	○	Novalis Tx による定位照射、IMRTを積極的に行っています。	ア	放射線治療科 http://www.gh.opho.jp/patient/examination/75.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	あり		イ	http://			
5			状況					ア	http://			
			実績					イ	http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 後腹膜腫瘍、腹膜腫瘍 後腹膜腫瘍、腹膜がん
------------------------------------	-----------------------------